

文部科学大臣杯第15回全日本少年春季軟式野球大会ENEOSTーナメント熊本県予選大会 (兼)第12回味岡旗少年軟式野球大会要項

1. 目的 健全なる少年達の育成と技術の錬磨並びに親睦を図ることを目的とする。
2. 主催 熊本県軟式野球連盟
3. 共催 熊本県中学校体育連盟
4. 主管 球磨郡軟式野球連盟(城南地区軟式野球連盟連合会)
5. 後援 球磨郡町村長会・球磨郡体育協会・球磨郡町村教育委員会連絡協議会
熊本日日新聞社
6. 会期 令和5年10月14(土)・15(日)・21日(土) 予備日22(日)・28(土)・29日(日)
7. 会場 多良木球場・上野球場・免田総合グラウンド・錦国体球場・川上球場
8. 参加資格 (1)熊本県軟式野球連盟に登録しているチームであること
(2)支部予選代表又は支部推薦チームで、平成27年度熊本県軟式野球連盟で決定しているチーム数とする。(全32チーム)
(3)スポーツ保険に加入済みのチームであること
9. チーム編成 監督1名、コーチ2名以内、選手10名以上25名以内とする。
10. 競技規則 2023年公認野球規則、2023年競技者必携並びに別に定める特別規則を適用する。
11. 試合方法 (1)トーナメント方式とし各試合7イニングとする。
ただし、試合時間が1時間30分、準決勝及び決勝戦においては2時間を経過した場合には新しいイニングには入らない。
(2)5回以降7点差の場合は得点差によるコールドゲームとする。
ただし優勝戦は5回以降10点差とする。
(3)7回又は制限時間が来ても同点の場合は、タイブレーク方式を最大2回まで行う。
それでも決着がつかないときは、出場選手9名の抽選で勝敗を決定する。
ただし、優勝戦は投手の投球制限を遵守のうえ、勝敗が決するまで行う。
(4)タイブレーク方式は継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち、無死一・二塁の状態にして行う。
(5)全試合特別継続試合を適用することがある。
(6)降雨、暗黒などで7回までイニングが進まなくても5回を完了すれば試合は成立する。
(7)守備側及び攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。タイブレーク戦は1イニングに1回とする。
守備側のタイム中に攻撃側は指示を与えることができるが、守備側のタイムより長引けば攻撃側も1回カウントされる
攻撃側のタイム中に守備側は指示を与えることができるが、攻撃側のタイムより長引けば守備側も1回カウントされる
(8)投手の投球制限については、2023年全日本軟式野球連盟の規定通りとする
1日100球で到達打者完了までとする。(ダブルヘッダー持ち越し可)
なお、特別継続試合で投球できる球数は、元の試合で投じた球数を引き継ぎ、残りの球数だけとする。
また、特別継続試合に勝利したチームの投手は、同日に行われる試合において1日

の投球制限を超えない範囲で登板できる。

12. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球 ケンコーM号ボール

13. 審判 熊本県軟式野球連盟公認審判員

14. 参加申込 (1)令和5年9月25日(月)までに熊本県軟式野球連盟少年部事務局に参加申込書をメールにて送付する。

※少年部メールアドレス kumamoto-shounen@bun.bbiq.jp

(2)監督会議(抽選会)に各支部長の押印を済ませた参加申込書正本を持参する。

(3)参加申し込み後の変更追加は監督会議当日まで認める。

15. 参加料 15,000円 監督会議時に納入

16. 監督会議 下記のとおり行う。監督1名のみの参加とする。

(1)日時 令和5年9月30日(土) 15時

(2)場所 水前寺共済会館 (熊本中央区水前寺1-33-18)

17. 開始式 下記のとおり行う。

(1)日時 令和5年10月14日(土) 8時30分

(2)場所 多良木球場

(3)参加者 当該会場第一試合の2チーム

※開会式は行わない

18. 表彰

(1)熊本県連盟 優勝＝賞状・優勝旗 準優勝＝賞状・準優勝旗 3位＝賞状・楯

(2)味岡旗 優勝＝優勝旗 準優勝＝準優勝旗

19. 上位大会への出場推薦

(1)優勝チーム 全国大会(令和6年3月、静岡県)に推薦

(2)準優勝チーム 九州少年軟式野球大会(11月11・12日、鹿児島県)に推薦

(3)第3位チーム 九州中学生選抜軟式野球大会(令和6年3月、佐賀県)に推薦